

No.	⑬	分類	3-(2)-イ	資料名	地いきの人といっしょに	学年	4年	領域	道徳	2-(4)
-----	---	----	---------	-----	-------------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 人と人とのつながりの大切さに気づき、豊かな人間関係を築こうとする。

2 趣旨

- 自分たちの地域を自分たちでよりよくしていこうとする態度はとても大切なことである。また、地域のボランティア活動を通して、世代間交流も生まれてくることを捉えさせる。
- 地域の人との交流を通して変容していく主人公の気持ちから、人と人との温かいふれあいを大切にしようとする態度や高齢者との関わりの中で感謝の気持ちを育てる。

3 配慮事項

- 地域の実情にあわせて、地域のボランティア活動について捉えさせる。
- 子どもたちと地域の高齢者との心温まるよりよい交流についても考えさせたい。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 変化していく「ぼく」の気持ちについて考える。	
集会所に集まってきている人を見て、「ぼく」はどんなことを考えたのでしょうか。	
・ほとんど知らない人ばかりだな。 ・参加するんじゃなかったな。	・「ぼくはこうかいした」の思いから、ぼくの今の心境を考えさせる。
おじいさんの話を聞いて、「ぼく」はどんなことを思ったのでしょうか。	
・おじいさんの話は面白いな。 ・初めて出会う人ではないような気がする。 ・この町のことが好きなんだな。	・おじいさんとの出会いを通して、参加したことを後悔していたぼくの心境の変化に気づかせる。 ・おじいさんのにこにこした表情等から、まちを愛している思いに気づかせる。
「ぼく」は、なぜおばさんの手をぎゅっとにぎりかえたのでしょうか。	
・「よかったね。」という気持ちから。 ・「ぼくもうれしいよ。」という気持ちから。	・手伝うことによって相手が喜んでくれたことに着目させ、人と人とのふれあいの喜びを味わえたことに気づかせる。
2 「ぼく」の日記の内容について考える。	
「ぼく」は、日記にどんなことを書いたのでしょうか。	
・クリーンデーに参加してよかったこと。 ・地域のことをよくしてくれる人たちに感謝したいこと。 ・今度のクリーンデーも参加したいこと。	・地域の人との温かい交流がぼくの気持ちを変化させていったことをおさえ、人との関わりを大切にしていこうとする姿に共感させる。
3 心に残っている出会いの経験を発表する。	
みなさんは、どんな出会いが心にのこっていますか。	
・小学校に入学して、たくさんの友だちができた。 ・大会に行っている人々と話をするようになった。 ・見守り隊の人があいさつをしてくれた。	・日常生活を振り返らせ、人と人との出会いがたくさんあることに気づかせる。 ・様々な人々との温かい交流経験を想起させ、豊かな人間関係を築こうとする意欲や態度を身につけさせる。